

サンクトペテルブルク大臣宣言

1. 我々、交通輸送分野を担当する閣僚は、アジア太平洋地域におけるサプライチェーンの効率化と継続性を確実なものへと発展させていく議論を行う為、2012年8月3日ここサンクトペテルブルクに集まった。
2. 我々は信頼できるサプライチェーンこそが地域、世界における経済・エネルギー・食物・環境安全を提供し、継続的な発展を維持する為には必須事項であると認識している。
3. 我々はAPEC2012の議長国として、信頼できるサプライチェーンの構築という課題を強調するというロシア連邦の決定と、同国によるその課題に係る現状の問題点や発展に向けた有望な分野について議論しあうAPEC交通大臣会合の開催について感謝の意を示す。
4. 我々は乗客や貨物の効率的な動きを支えていこうとAPECの各国間において輸送サービスの更なる自由化や簡素的で、透明性のある規則に向けた取り組みを行っていくために、ハイレベルでの議論の重要性を認識する。
5. 我々は信頼できるサプライチェーンの構築を目的とするAPEC交通ワーキンググループ（TPTWG）における進行中の活動やサプライチェーン・コネクティビティ・アクションプランの実行における位置づけを認識している。
6. 我々は2015年までに地域間サプライチェーン・パフォーマンスを10パーセント向上させるという首脳間の目標を支持していくために傾倒していることを今一度再確認する。
7. こうしたことから、我々の地域における貿易量の増大を認識し、輸送・取引コストの削減やサプライチェーンの効率化とセキュリティの向上、良好な貿易環境形成による多大なる経済的利益を生み出す為、全モードに渡るサプライチェーン経路の多様化、サプライチェーンコネクティビティの改善、及び物流情報サービスネットワークの構築の機会を産業界、各利害関係者が一丸となって探していくことが重要である。
8. 我々は更なる安全でセキュリティ性が高く、環境に優しい輸送の実現に向けて、もっとも効率的なサプライチェーンの構築から発展、そして使用まで官民両部門を支援していくために、我々は、TPTWGを通じて、既存の主な輸送経路と代替しうる新たな輸送経路との比較に取り組む。
9. 我々は特にSCCPなどサプライチェーンの生産性向上に寄与する各関連サブフォーラムと協調して各APECエコノミー間における貿易関連手続きの簡素化と平準化に係る更なる取組みを支援していく。
10. 我々は、サプライチェーンのコネクティビティ（結合性）やビジビリティ（可視化）を

確保していく為に、サプライチェーンは、生産者や消費者が関心を持ち、輸送品質や速度を向上させ、バルク・危険物・有害物・放射性物質といった貨物の輸送を管理するために必要な透明性と能力を保証する高度道路交通システム(ITS)や全地球的航法衛星システム(GNSS)に基づく監視システムや自動輸送管理物流サービスなど知能的な技術を実装した、一つの現代的なネットワークとして捉えられるべきであるという共通の理解を得る。

11. 我々は、TPTWGを通じて、既存のインフラの更なる効率的かつ安全な利用を行う為に、サプライチェーンの技術の現代化や、特にもっとも脆弱な接続やサプライチェーンの技術の現代化の問題に対して協議し、サプライチェーンに係る利害関係者間の調整を強化する。

12. 我々は復旧力のあるサプライチェーンを重要な財産を定義する枠組みの形成を支援し、ひいてはそれが輸送インフラの強化を助長し、そのプロセスの理解を改善していく。この点に関して、我々は輸送システムが制限される期間において特に政府や民間部門にとって極めて重要な情報に関する効率的な情報伝達メカニズムの開発により、APECの貿易復旧プログラムを実行可能にするTPTWGの取り組みを支援していくことを再確認する。

13. 我々は国境を越えた安全性の強化の為に、緊急時の早期警告に関する共通基準を導入していこうとする考えを支持していく。

14. 我々はアメリカ、サンフランシスコにて行われた第7回交通大臣会合での合意事項を再確認し、われわれの活動結果を議論するため、2013年に再び参集することに合意する。